

就職状況調査：平成 25 年 4 月 1 日現在

大学生の就職率は 93.9%、わずかに回復！ 女子が男子を 1.5 ポイント上回る

旺文社 教育情報センター 平成 25 年 5 月

文部科学省および厚生労働省はこの程、大学・短大等の就職状況を発表した。

それによると、平成 25 年 3 月卒業者で就職をした大学生の就職率は、4 月 1 日現在で 93.9%（前年同期比 0.3 ポイント増）で、前年度をわずかに上回る状況であることが判明した。

概況

●依然として厳しい状況、短大女子は大幅に改善

大学生の就職率は、前年同期比で 0.3 ポイント上回り、2 年連続で回復をみせたが、“就職氷河期”といわれた 11 年度（91.1%）～15 年度（93.1%）の水準に留まり、依然として厳しい状況である。一方、短大女子の就職率は 94.7%、前年同期比 5.2 ポイント増で、大きく改善した。前回 2 月 1 日調査（短大女子：就職率 78.8%・前年同期比+11.9 ポイント）からも順調な結果となった。（図 1 参照）

●内 訳—女子と理系が善戦—

大学生の就職率を男女別にみると、男子は 93.2%（前年同期比-1.3 ポイント）、女子は 94.7%（同+2.1 ポイント）。女子の上げ幅が大きく、5 年ぶりに女子が男子を上回った。文理別では、文系が 93.4%（同+0.1 ポイント）に対し理系は 96.2%（同+1.6 ポイント）となった。設置者別では、国公立大が 95.3%（同-0.1 ポイント）、私立大が 93.4%（同+0.5 ポイント）と、国公立大と私立大の就職率の差は、前年の 2.5 ポイントから 1.9 ポイントに縮まった。特に、私立大理系 97.1%（同+4.1 ポイント）の上げ幅が大きい。また、国公立大女子 96.0%（同+1.2 ポイント）も高い就職率となっている。

地域別の就職率では、九州地区 90.6%（同-2.6 ポイント）で前年より悪化、他の地区は、中国・四国の 93.8%（同+2.1 ポイント）をはじめ、5 地区で改善した。

■ Topics 一般入試入学者の平均所得は、A0・推薦(学力を課さない)入学者より高い！

平成 25 年 3 月、「大学入試制度の多様化に関する比較分析—労働市場における評価—」という論文（ディスカッション・ペーパー）が、独立行政法人経済産業研究所（RIETI）の HP に公表された。執筆者は、浦坂純子（同志社大学社会学部）、西村和雄（経済産業研究所）、平田純一（立命館アジア太平洋大学国際経営学部）、八木匡（同志社大学経済学部）の 4 氏。『各種入試制度を整理したうえで、労働市場における相対的パフォーマンスを所得によって測定し、学力を課す入試制度と課さない入試制度とを比較することにより、1980 年代半ばから強力に進められた大学入試制度の多様化の帰結を評価する。』というもの。

それによると『分析の結果、学力を課す入試制度による入学者の平均所得は、学力を課さない入試制度による入学者の平均所得よりも、統計的に有意に高くなっている。また、理系における格差は文系における格差よりも大きくなっている。』としている。分析対象は、大学入試制度の多様化が始まった 1980 年代半ばに大学入学年齢（18 歳）に達した者が、調査時点（2011 年）で 45 歳前後に達していることを考慮し、“45 歳以下にサンプルを限定した”としている。各平均所得は、**国公立文系：学力考査なし約 369.6 万円・学力考査あり約 450.3 万円、国公立理系：同なし約 463.3 万円・同あり約 579.8 万円、私立文系：同なし約 362.1 万円・同あり約 420.2 万円、私立理系：同なし約 488.2 万円・同あり約 523.3 万円。**

※詳細は右 URL で：<http://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/13030024.html>

<文部科学省・厚生労働省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文部科学省・厚生労働省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、就職状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 24 年 10 月 1 日、12 月 1 日、25 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

なお、各調査結果の詳細については、以下の集計表をご覧ください。

平成 24 年度

大学・短大・高等専門学校卒業者の就職状況調査（平成 25 年 4 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校の抽出調査。

*就職率＝就職希望者に対する就職者の割合。

*前年度就職率＝平成 24 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職率	前年度就職率
大 学	70.3% (1.4)	93.9% (0.3)	93.6%
国公立	53.4% (▲0.8)	95.3% (▲0.1)	95.4%
私 立	78.7% (2.5)	93.4% (0.5)	92.9%
短期大学	80.0% (5.2)	94.7% (5.2)	89.5%
高等専門学校	60.8% (▲2.0)	100.0% (0.0)	100.0%
合 計	70.5% (1.5)	94.3% (0.7)	93.6%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職率	前年度就職率
大 学	63.6% (1.8)	93.2% (▲1.3)	94.5%
国公立	43.4% (▲0.9)	94.5% (▲1.5)	96.0%
私 立	74.4% (3.3)	92.8% (▲1.1)	93.9%
高等専門学校	60.8% (▲2.0)	100.0% (0.0)	100.0%
合 計	63.2% (1.3)	94.0% (▲1.2)	95.2%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職率	前年度就職率
大 学	79.7% (0.9)	94.7% (2.1)	92.6%
国公立	69.1% (▲0.7)	96.0% (1.2)	94.8%
私 立	84.4% (1.6)	94.2% (2.5)	91.7%
短期大学	80.0% (5.2)	94.7% (5.2)	89.5%
合 計	79.8% (1.8)	94.7% (2.8)	91.9%

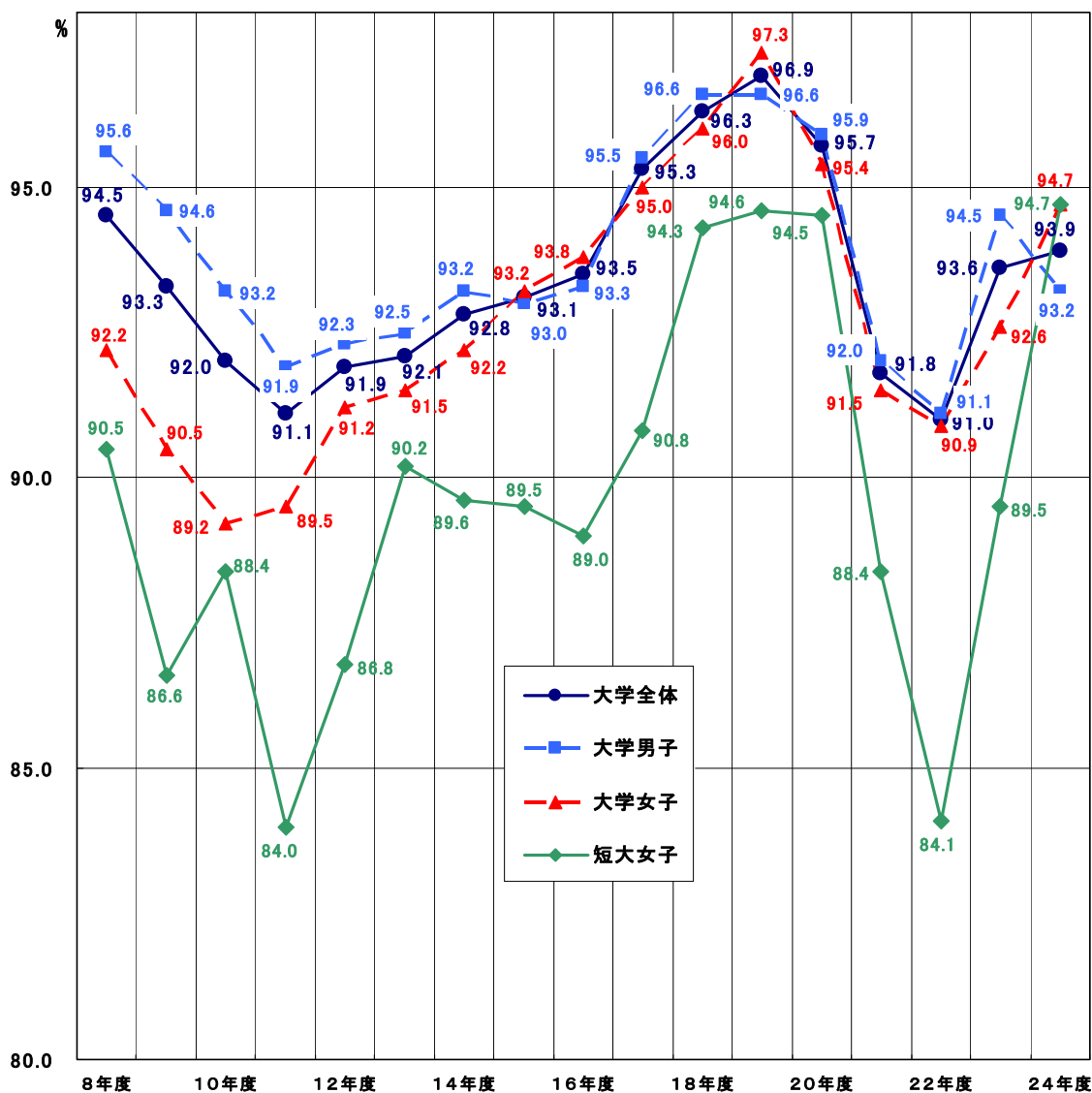
[大学：文理別就職率]

区分	文系	理系
大学	93.4% (0.1)	96.2% (1.6)
国公立	95.3% (0.4)	95.1% (▲1.4)
私立	92.9% (0.0)	97.1% (4.1)

[大学：地域別就職状況]

地域	就職率	地域	就職率
北海道・東北	91.4% (1.4)	近畿	93.2% (0.2)
関東	95.8% (0.7)	中国・四国	93.8% (2.1)
中部	95.0% (1.0)	九州	90.6% (▲2.6)

◆ 大学・短大卒業者の就職率（平成25年4月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施